環 境 活 動 レ ポ ー ト

2024 年 11 月 29 日

(2023 年 11 月～2024 年 10 月)

有限会社　新十津川商事

マツダオートザム砂川空知太

事業活動の概要

１．事業所名及び代表者名
有限会社　新十津川商事（マツダオートザム砂川空知太）
代表取締役社長　小川　博樹

２．所在地
〒073-0101
北海道砂川市空知太東１条５丁目１番 15 号

３．事業内容
新車販売、中古車販売、自動車関連部品用品販売、自動車整備、車検整備、
自動車鈑金塗装、保険代理店、自動車賃貸業務

４．事業規模

活動規模	単位	2024 年度
売上高	万円	30692 万円
従業員	人	12 人
床面積	m^2	1113m^2

５．環境管理責任者及び担当者
環境管理責任者
代表取締役社長　小川　博樹
EA-21 推進事務局(担当責任者)
七尾　諭美
連絡先
TEL:0125-53-1212
e-mail:via12@mazda-autozam.jp

６．認証・登録範囲　　全社、全事業
有限会社　新十津川商事（マツダオートザム砂川空知太）

新車･中古車自動車販売
自動車部品･用品販売
自動車整備業
生損保代理業務
自動車賃貸業務

７．環境方針

■基本理念

有限会社　新十津川商事（マツダオートザム砂川空知太）は、自動車販売･自動車整備･自動車保険など全ての事業活動を通じて継続的に環境への負荷軽減に取り組み、地域環境保護に努めながら豊かな社会づくりに貢献します。

■環境指針

1.環境改善目標を定め、継続的な環境活動を実践します。
2.事業活動に適用される環境関連法規及び、当社が同意する要求事項を理解し遵守します。
3.地球温暖化防止に向けた二酸化炭素排出量削減や省エネルギーに取り組みます。
4.限りある資源を守るため、水使用量削減及び廃棄物排出量削減に取り組みます。
5.個人のスキルをあげ生産効率を向上させ、環境負荷軽減に取り組みます。
6.使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
7.全従業員にここの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し公表します。

制定日　令和６年 11 月１日

有限会社　新十津川商事　マツダオートザム砂川空知太　代表取締役社長　小川　博樹

８．環境経営目標

環境経営目標項目	目標値	中長期目標	
	2024 年度(11 月～10 月)	2025 年度	2026 年度
二酸化炭素排出量の削減	107,866.46kg-CO_2	各項目での目標を設定する	
電力使用量削減 前年度 1%減	59,020kWh	前年度 1%減	前年度 1%減
ガソリン使用量削減 前年度 1%減	9,024ℓ	前年度 1%減	前年度 1%減
軽油使用量削減 前年度 1%減	4,388ℓ	前年度 1%減	前年度 1%減
灯油使用量削減 前年度 1%減	12,679ℓ	前年度 1%減	前年度 1%減
ガス使用量削減 前年度 1%減	10.49 ㎥	前年度 1%減	前年度 1%減
産業廃棄物排出量削減 前年度 1%減	6,362kg	前年度 1%減	前年度 1%減
一般廃棄物排出量削減 前年度 1%減	404kg	前年度 1%減	前年度 1%減
水使用量削減 前年度 1%減	260 ㎥	前年度 1%減	前年度 1%減
グリーン購入推進	OA 用紙、文房具購入で 100%	100%実施	100%実施
エコカーの販売促進 年度目標 100%	80 台	年度目標 100%	年度目標 100%
車検入庫台数 年度目標 100%	1,300 台	年度目標 100%	年度目標 100%
整備入庫の平準化	残業 238.1 時間	前年残業時間　2%減	前年残業時間　2%減
修理時の中古部品使用促進	整備、修理時の説明 100%実施	100%実施	100%実施

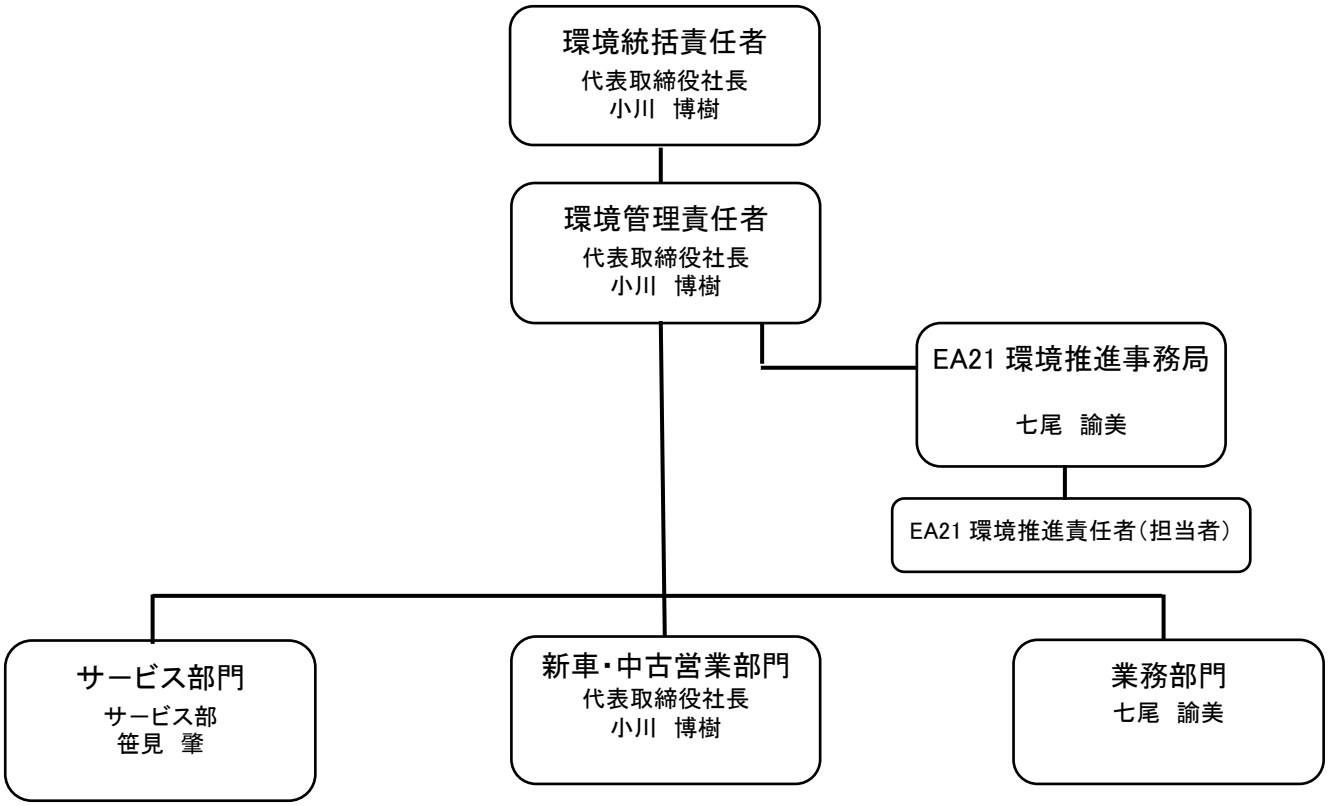
化学物質は、使用が無いため目標設定していない。

北海道電力の二酸化炭素排出係数 0.656kg-CO_2/kWh（2019 年度）

９．環境経営計画

環境経営目標項目	環境経営計画と取組み内容	担当部署
二酸化炭素排出量の削減	各項目での取組で実施する	全部署
電力使用量削減 前年度 1%減	・作業時間に合わせた電源のON・OFFを徹底 ・メジャーサイン等広告灯の電気管理 ・ショールーム/工場の消灯	全部署
ガソリン使用量削減 前年度 1%減	・エコドライブの啓発 ・代車エコカーに入替え ・代車タイヤ空気圧、貸出時燃料チェック	新車・中古車営業 業務
軽油使用量削減 前年度 1%減	・搬送車エコドライブの実施 ・新車納車を来店型へ	フロント営業 新車・中古車営業
灯油使用量削減 前年度 1%減	・暖房機温度 23℃(ショールーム) ・洗車機温度設定 40℃	業務 サービス
ガス使用量削減 前年度 1%減	・台所ガスコンロの効率的使用	サービス
産業廃棄物排出量削減 前年度 1%減	・分別の徹底 ・産業廃棄物の適正処理	サービス 業務
一般廃棄物排出量削減 前年度 1%減	・新聞、封筒の再利用 ・裏紙の利用、シュレッター利用でリサイクル	業務 全部署
水使用量削減 前年度 1%減	・洗車時の無駄をなくす ・節水の掲示を各水道口に貼り節水活動を推進	サービス 全部署
グリーン購入推進	・全てをエコマーク商品購入 ・カタログを使用した購入を実施	業務
エコカーの販売促進 年度目標 100%	・試乗回数を増やす ・土日営業の実施	新車・中古車営業
車検入庫台数 年度目標 100%	・既存顧客へ 2 カ月前の連絡を 100%実施	新車・中古車営業
整備入庫の平準化	・1 カ月、1 週間、1 日の時間管理スケジュールで管理を実施	サービス
修理時の中古部品使用促進 顧客への説明を実施	・中古品使用の案内を 100%実施 ・わかり易い説明書作成の検討 ・中古部品使用時の見積書も同時に提示	新車・中古車営業

１０．実施体制



① 環境統括責任者　社長（代表者）の役割
・環境管理責任者を任命する。
・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する。
・環境方針を制定する。
・環境経営システムの構築・実施に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
・環境目標、環境活動計画及び環境活動レポートの承認。

② 環境管理責任者の役割
・ＥＡ－２１の要求事項に適合したシステムを構築し、実施し、かつ維持されることを確実にすること
・社長による見直しのための情報として、その構築・実施に関する情報を社長に提供する
・利害関係者からの苦情、要望等の処理と連絡
・環境目標及び環境活動計画の策定
・環境活動レポート、環境経営マニュアルの作成

③ ＥＡ－２１事務局の役割
・事務局として、環境管理責任者を補佐し、環境経営システムに関する実務全般を所管する
・環境への負荷及び取組みへの自己チェックの実施
・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の確認
・教育、訓練計画の策定と実施（緊急時対応訓練、テスト含む）
・環境文書及び記録の作成と管理

④ 各部門の部門長
・環境取組を推進する
・担当部門の環境取組の責任者

１１．実績とその評価

北海道電力の二酸化炭素排出係数 0.656kg-CO_2/kWh（2019 年度）

環境経営目標項目 目標値(2023.11～2024.10)	実績 (2023.11～2024.10)	評価 (2023.11～2024.10)	2023年度実績 (2022.11～ 2023.10)
二酸化炭素排出量の削減(kg-CO_2) 107,866.46Kg-CO_2	109,959.99kg-CO_2	×:目標を 2%程度上回った	108,956.02kg-CO_2
電力使用量削減(前年度 1%減) 59,020kWh	60,944kWh	×:売上げも増加し店舗稼働時間が増えた目標を 3%程度上回った	59,616kWh
ガソリン使用量削減(前年度 1%減) 9,024ℓ	9,769.6ℓ	×:売上も増え代車使用も多く削減にはならなかった	9,115.87ℓ
軽油使用量削減(前年度 1%減) 4,388ℓ	5,024.7ℓ	×:目標を 15%程度上回った 鈑金修理により搬送車の利用が大幅に増えた	4,432.45ℓ
灯油使用量削減(前年度 1%減) 12,679ℓ	11,628.4ℓ	○:事務所暖房と工場での乾燥のためのジェットヒーター使用が少なかった	12,807.7ℓ
ガス使用量削減(前年度 1%減) 10.49 ㎥	8.5 ㎥	○:目標を 19%程度下回った ドリンクメニュー変更により使用量が減少	10.6 ㎥
産業廃棄物排出量削減(前年度 1%減) 6,362kg	7,020kg	×:目標達成出来なかった	6,426kg
一般廃棄物排出量削減(前年度 1%減) 404kg	404kg	○:目標を達成した 裏紙使用向上による	408kg
水使用量削減(前年度 1%減) 260 ㎥	267 ㎥	×:目標を 3%上回った 洗車が多く、車検整備車両増大	259 ㎥
グリーン購入推進(OA 用紙、文房具購入で 100%)	100%実施	○:継続実施ができた	継続してグリーン購入は 100%実施している
エコカーの販売促進(年度目標 100%) 80 台	65 台	×:日曜定休日など実施し、営業活動は予定通り実施したが販売に繋がっていない	66 台
車検入庫台数(年度目標 100%) 1300 台	1098 台	×:顧客への入庫案内が徹底できなかった	966 台
整備入庫の平準化(残業時間の縮減 2% 238.1 時間)	95.598 時間	○:新人の育成で仕事の流れが良く残業が少なかった	240.5 時間
修理時の中古部品使用促進	顧客への説明を実施 100%実施	○:提案は継続できた	顧客への説明を 100 実施できた

１２．環境活動の取組結果と評価と次年度の取り組み

環境経営目標項目	評価	環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量の削減	×	各項目での取組で実施する	省エネの結果目標を達成出来ませんでした	未達成項目を改善する
電力使用量削減 前年度1%減	×	・作業時間に合わせた電源のON･OFFを徹底 ・メジャーサイン等広告灯の電気管理 ・ショールーム/工場の消灯	年間目標は未達成でした。今年度は人員の減少や増員などがあったが、総作業量は増加した。昨年に比べて社員一人一人が電気の使用量削減に意識があり節電を行うことができた。	引き続き同じ活動計画で行う
ガソリン使用量削減 前年度1%減	×	・エコドライブの啓発 ・代車エコカーに入替え ・代車タイヤ空気圧、貸出時燃料チェック	年間目標は未達成でした。代車への燃料補充を顧客に依頼することで、昨年に比べて使用量削減に繋がったが売上増加の為思う様に削減には繋がらなかった	レンタカーや代車の貸し出し時に燃料補充のご案内をお客様に全数実施し改善する
軽油使用量削減 前年度1%減	×	・搬送車エコドライブの実施 ・新車納車を来店型へ ＜環境目標は未達成であったが環境活動の取組は実施できた＞	今年度は鈑金修理が増大し、新十津川ボディ工場へ搬送車使用し搬入する機会が増え昨年に比べて軽油使用量が増えた。	この傾向は次年度も続きと思われるが、引き続き同じ活動計画で行う
灯油使用量削減 前年度1%減	○	・暖房機温度 23℃(ショールーム) ・洗車機温度設定 40℃	昨年より気温も暖かく暖房機、洗車機の温度管理の使用も少なく、これらで同様に削減を意識して目標削減に繋がった。	効率良くｼﾞｪｯﾄﾋｰﾀｰの使用や暖房機器の温度管理などを行い使用量の削減も行えたい
ガス使用量削減 前年度1%減	○	・台所ガスコンロの効率的使用	ドリンクメニュー変更や電気ポット購入に伴いガスの使用が削減された。	給湯でのガス使用時間を節約し使用量削減させる。
産業廃棄物排出量削減 前年度1%減	×	・分別の徹底 ・産業廃棄物の適正処理	産業廃棄物の処理、分別の徹底が掲示する事で意識が高まった、前年より廃タイヤ処分量が多くなり、コロナ過も落ち着き整備入庫が昨年より多く産業廃棄物の処分量も多く目標が未達成でした 法に従い適正に実施	排出量は業務量に依存するものであるが、次年度も分別の徹底でのリサイクル推進など活動を継続して実施する 継続する
一般廃棄物排出量削減 前年度 1%減	○	・新聞、封筒の再利用 ・裏紙の利用、シュレッター利用でリサイクル推進	紙使用量の削減ができている。裏紙使用や修理車引き渡し時お支払い声掛け(請求書使用不可)など顧客対応での紙の使用削減により、一定の効果が得られている	引き続き同じ活動計画で行う
水使用量削減 前年度 1%減	×	・洗車時の無駄をなくす ・洗車をまとめて実施するようスケジュールを調整する ・節水の掲示を各水道口に貼り節水活動を推進	洗車時間を集中させるなど仕事の効率を考えた取組みの成果と社員一人一人の意識が高まったが今までなかなか出来ていなかった代車の洗車やコロナ過落ち着きに伴い整備車両の増大により年間目標の削減に繋がらなかった。	引き続き同じ活動計画で行う
グリーン購入推進	○	・全てをエコマーク商品購入 ・カタログからの購入を実施する	以前からエコマーク商品やグリーンマーク商品を意識し購入している。	引き続き同じ活動計画で行う
エコカーの販売促進 年度目標 100%	×	・試乗回数を増やす ・日曜日定休日の実施	コロナ過の影響で店舗に車を見に来店されるお客様も少なく思ったようにエコカーの販売には繋がっていない 接客時に顧客の繋がりを親密にする様に意識し取組みを行っている	代替え促進の集客を行い、商談率をUPさせるなど、営業活動の検討を行い目標達成に繋げたい
車検入庫台数 年度目標 100%	×	・既存顧客へ２カ月前の連絡を 100%実施	営業、工場人員の増員により思うような集客と生産が出来年度の半期は上手く行ったが年度全体では目標に届かなかった	DM の内容改善や整備来店時の次回入庫案内の対応改善を行う

環境経営目標項目	評価	環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組み
整備入庫の平準化 残業時間の縮減 2% 238.1 時間	○	・1 カ月、1 週間、1 日の時間管理スケジュールでの管理を実施	板金修理を本社にて集中することで初期段階より徐々に効率が上がってきた、整備人員を増員する事で生産も良くなり打ち合わせを密にすることで効率も良くなってきている（来店型の店舗を意識して業務遂行している）	引き続き同じ活動計画で行う
修理時の中古部品使用促進 顧客への説明を実施	○	・中古品使用の案内を 100%実施 ・わかり易い説明書作成の検討 ・中古部品使用時の見積書も同時に提示	リサイクルパーツを嫌うお客様もいらっしゃいますが板金修理時使用促進の案内を顧客へ説明は実施できている、その他整備入庫客にも一部説明はできている。	引き続き同じ活動計画で行う

１３.2025 年度(2024.11～2025.10)の環境経営目標と環境経営計画

北海道電力の二酸化炭素排出係数 0.656kg-CO2/kWh （2019 年度）

環境経営目標項目	環境目標値	環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減	109,959.99Kg-CO_2	各項目での活動を実施する
電力使用量削減 前年度 1%減	60,335kWh	・作業時間に合わせた電源のON･OFFを徹底 ・メジャーサイン等広告灯の電気管理 ・ショールーム/工場の消灯
ガソリン使用量削減 前年度 1%減	9,671.9ℓ	・エコドライブの啓発 ・代車エコカーに入替え ・代車タイヤ空気圧、貸出時燃料チェック
軽油使用量削減 前年度 1%減	4,974.5 ℓ	・搬送車エコドライブの実施 ・新車納車を来店型へ
灯油使用量削減 前年度 1%減	11,512.1ℓ	・暖房機温度 23℃(ショールーム) ・洗車機温度設定 40℃
ガス使用量削減 前年度 1%減	10.49 m^3	・台所ガスコンロの効率的使用
産業廃棄物排出量削減 前年度 1%減	6,949.8kg	・分別の徹底 ・産業廃棄物の適正処理
一般廃棄物排出量削減 前年度 1%減	400kg	・新聞、封筒の再利用 ・裏紙の利用、シュレッター利用でリサイクル推進
水使用量削減 前年度 1%減	264.3 m^3	・洗車時の無駄をなくす ・洗車をまとめて実施するようスケジュールを調整する ・節水の掲示を各水道口に貼り節水活動を推進
グリーン購入推進	OA 用紙、文房具購入で 100%	・全てをエコマーク商品購入 ・カタログを使用した購入を実施
エコカーの販売促進 年度目標 100%	2025 年度の営業目標台数	・試乗回数を増やす ・日曜定休日の実施 ・代替え促進で商談率を向上
車検入庫台数 年度目標 100%	2025 年度の営業目標台数	・既存顧客へ 2 カ月前の連絡を 100%実施
整備入庫の平準化 前年度残量時間の 2%削減	残業時間 93.69 時間	・1 カ月、1 週間、1 日の時間管理スケジュールで管理を実施
修理時の中古部品使用促進	整備、修理時の説明 100%実施	・中古品使用の案内を 100%実施 ・わかり易い説明書作成の検討 ・中古部品使用時の見積書も同時に提示

１４.その他の環境保全活動

今年度は特に実施していない。

１５．環境関連法規への違反・訴訟等の有無

環境関係法令等の順守状況を確認した結果　環境法令等への違反はない。

順守の主な法令は以下の通りである。

廃掃法、自動車リサイクル法、フロン排出抑制法、火災予防条例、騒音規制法、振動規制法、北海道循環型社会形成推進条例、北海道公害防止条例　など

なお、関係当局からの違反等の指摘・訴訟等はない。

また、環境に関する苦情は無い

１６．社長による全体の評価と見直し結果および指示事項

今期は整備人員が整い、昨年と比べて新人メカニックも増えたが生産効率が良く、使用量の違う項目もあり削減が見えない部分もあるが年々取組みを通して社員の環境意識も向上したと思われます。環境目標も一部を除いて達成できており、今後もこのまま様子を見ていきます。エコカーの販売や整備入庫量の増大に対してなかなか成果が出ずらい項目もありますが継続性をもって次年度１年間環境意識に心掛け取組みを実施する。

・環境方針の改訂は　改訂の必要なし。
・環境目標は　中長期目標の削減率変更。
・環境活動計画(手順、スケジュール、責任体制等)は　改定の必要なし。
・環境経営システムは　改定の必要なし。
・実施体制は　変更の必要なし。